

平成30年第1回定例会 施政方針に対する代表質問通告一覧表

会派名(氏名)	番号	質問事項	質問の具体的な内容
1. 自由民主党・ 無所属の会 (和地 仁美)	1	重要施策について	<p>① 平成29年度から開始した「居宅訪問型保育事業」の試行だが、1年間の試行で検証できた点と、平成30年度に本格稼働させず、引き続き試行として確認したい点は何か。</p> <p>② やまとあけぼの学園の老朽化対策については、平成29年度の施政方針においても「旧みのり福祉園などの活用を視野に入れながら検討を進めていく」との方針が示され、今回の施政方針でもまったく同様の方針が示された。この検討はどこまで進んでおり、平成30年度にはどこまで進める予定なのか。</p> <p>③ 平成27年度から開催されている「総合教育会議」だが、今回の施政方針でも「総合教育会議を通じて、市と教育委員会がより一層の連携を強化する」旨の方針が示された。総合教育会議開催による効果、すなわち児童・生徒の学力向上、豊かな人間形成及び健康・体力の増進において、総合会議において市と教育委員会が連携したことで、どのような利点があったのか。また、今後の課題など、平成30年度の総合教育会議で改善したい点はあるか。</p> <p>④ コミュニティ・スクールを小学校1校で開設することだが、現在、東大和市では小中一貫教育という形で、中学校区を1つのグループとして、各グループの愛称も考えて活動をしている。なぜ、中学校区単位のグループでコミュニティ・スクールとすることとせず、小学校1校だけでスタートするのか。その理由は。また、グループでスタートしないことによる弊害はないと考えているか。</p> <p>⑤ 教員の働き方改革のモデル事業として、スクールサポートスタッフを小学校1校に配置することだが、教員の多忙さは、全校共通の課題で、児童・生徒と向き合う時間をより確保することは、日本一子育てしやすいまちを目指す本市としては、重要なことだ。平成30年度に全校にスクールサポートスタッフを導入しない理由は何か。また、スクールサポートスタッフとは、どのような人材、あるいは資格を有した者を、どのような形で募集するのか。また、具体的にはどのような業務にあたっていただくのか。</p> <p>⑥ 市の魅力を高める施策の充実について ア 「市の魅力を高める施策の充実」という項目は、平成30年度から新たに重要施策に位置付けられたものだ。この目標に対しての進捗などはどのように検証していくのか。また、魅力については他の自治体との比較になると思うが、現時点で、どのような点が東大和市は他自治体より優れていると考えているのか。また、平成</p>

<p>(自由民主党・無所属の会)</p>	<p>2</p>	<p>主な施策について</p>	<p>30年度は、どのような点で他自治体に対して優位性を築こうとしているのか。</p> <p>イ 地方創生アドバイザーの所属する関東学院大学法学部と包括協定を締結し、官学連携による新たな政策研究に取り組むとのことだが、どのような課題に対する政策を研究するのか。また、具体的な連携方法は</p> <p>⑦ 市の魅力を高める観光事業の推進を検討することであるが、具体的にはどのような取り組みを想定しているのか。</p> <p>⑧ 特色ある公園の整備についての取り組みは平成29年度と全く同じく「市民懇談会において検討を重ねていただき、整備する公園を選定する」との方針が示された。しかし、昨年代表質問に対しては「平成29年度の早い時期に整備する公園を決定する」との答弁があった。公園の整備、特色化は、多くの市民、特に子育て世代の方から大きな関心と期待が寄せられていることは、このテーマを扱ったタウンミーティングの参加者数などからも推察できる。特色ある公園の整備への取り組みの進捗状況はどのようになっているのか。また、この取り組みに対するタイムスケジュールやロードマップなど、進め方についての具体的な計画はあるのか。</p> <p>⑨ PCB廃棄物の処理に関して、初めて重要施策に明記されたが、これは「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」が平成28年8月1日に施行されたことを受けてのことだと推察する。全量調査を行うとのことだが、対象となる場所と廃棄物の量、さらに法定期限内までに全廃するための具体的な取り組みは。また、平成29年度から取り組みなかった理由は</p> <p>① 学校教育の充実については、市長会の助成金を活用して英語を習得するための宿泊体験事業を引き続き行うとのことだが、市長は選挙公約で「英語教育の充実」を挙げていた。当市独自の英語教育の充実については、ALTの配置以外にどのような取り組みを進めていくのか。</p> <p>② 生涯学習の充実について</p> <p>ア 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催の気運醸成に向け進める各種事業の具体的な内容は</p> <p>イ 市民大学を「ヒガシヤマト未来大学」と改称して、内容、対象者も拡充することのことだが、「東大和グリーンカレッジ」の名称変更の経緯など、今回の変更にはどのような経緯、背景があったのか。</p> <p>ウ 明治維新150年・五日市憲法発見50年関連の事業を実施することのことだが、具体的にどのような事業を実施し、その実施により、どのような効果が見られると考えているのか。</p> <p>③ 青少年の健全育成については、「放課後子ども総合プラン」に基づき、子供の居場所づくりの“さらなる”充実を目指すとのことだが、そのために</p>
----------------------	----------	-----------------	--

<p>(自由民主党・無所属の会)</p>		<p>は、活動場所の確保として学校との調整が必要だと考える。活動場所の拡大、質の向上等、様々な点での充実が必要だと考えるが、平成30年度では、具体的にどのような充実を目指しているのか。</p> <p>④ 市民文化の振興について</p> <p>ア 平成31年度の市民会館の指定管理者の更新に向かって、どのような振り返りを実施し、次の指定管理者選定にどのように活かすのか。</p> <p>イ 平成29年度は吉岡堅二画伯の図録、絵葉書などを作成した。昨年、国の登録有形文化財に登録されたことを踏まえ、さらに吉岡堅二画伯ゆかりの地として東大和市をPRできる環境が整ったといえるが、絵葉書などのPRに処する物は作成する予定はあるか。</p> <p>⑤ 東京都の都市農業活性化支援事業を活用し、収益性の高い農業を展開するために必要な施設を整備することだが、具体的にはどのような施設を整備する予定か。</p> <p>⑥ 商業の振興については、例年通り商工会及び商店街が自主的に取り組むイベント事業に対する支援を引き続き行うとのことだが、市の支援に対する効果をどのように検証しているのか。また、今年度はどのような効果を期待しているのか。</p> <p>⑦ 市街地の整備については「都市マスタープラン」で掲げた方針の実現に向け、引き続き“協働の街づくり”に取り組んでいくとのことだが、この“協働”については、今までどのような取り組みを行い、平成30年度はどのような“協働の街づくり”に取り組むのか。</p> <p>⑧ 下水道事業については、引き続き地方公営企業法の適用に向けた取り組みを実施していくとのことだが、具体的な取り組みと、平成30年度に解決すべき課題は何か。</p> <p>⑨ コミュニティ交通については、いくつかの地域で地域の方々と検討を進めているとのことだが、平成30年度に導入する可能性のある地域はあるのか。検討を進めている中で、導入に対し、明らかになってきた課題は何か。</p> <p>⑩ 自転車等駐車場の有料化については、様々な問題点が明らかになった。その後の市、関係機関との対応により、落ち着きは出てきたが、施設管理については、有料という前提の上で課題がある状況だ。具体的には管理人の対応の問題だと思うが、利用者が快適に安心して駐車できる環境づくりをするという上で、市として取り組むことは何か。</p> <p>⑪ 緑の保全・創出については、新たに花づくりの講師を招き、花づくりが楽しめる公園の整備を行うとのことだが、「東大和市特色ある公園整備基本方針」の中で示されている公園の整備方針のどの項目に対応したことなのか。また、重要施策で示されたように、特色ある公園の整備については、整備する公園を引き続き検討することだったが、この花づくりを楽しめる公園について</p>
----------------------	--	--

<p>(自由民主党・無所属の会)</p>			<p>は、この選定とは別の形で決定し、取り組むのか。</p> <p>⑫ 局地的集中豪雨などによる浸水対策については、軽減効果を発揮できる抜本的な対策を検討していくとのことだが、“抜本的”な対策として、検討できる内容はどのようなことがあるのか。</p> <p>⑬ 環境の保全について、平成29年度には「環境市民の集い」などでの市民への啓発活動のほかに、職員のエコアクションへの取り組みを「第三次東大和市地球温暖化対策実行計画」に基づき、スタートさせたが、平成30年度ではこの計画に基づく取り組みに対して言及されなかった。平成30年度の庁内での取り組みは</p> <p>⑭ 広域行政の推進として、友好都市の喜多方市との様々な交流を実施してきているが、今までの効果をどのように評価しているのか。また、以前から喜多方市との連携強化ならびに教育的な効果も考え、喜多方米を給食で使用することを提案しているが、現時点での市の考えはどのようなものか。</p> <p>⑮ 職員の意識改革と資質の向上について、「接遇強化月間」などを実施するとのことだが、職員の接遇については、長年、課題とし、様々な取り組みを実施していると認識している。接遇は、社会人として、また、市民との信頼関係を第一とする市の職員として、基本的に身につけてしかるべきことだと思う。意識改革という点で、そろそろ次のステップに進むべきと思うが、現状はどのような課題があり、いまだに接遇について、取り立てて取り組まなければならないということの、根本的な問題は何かと認識しているのか。</p> <p>① 平成30年度の様々な施策で「東大和スタイル」を活用する取り組みが示された。取り組みの効果をあげるには、まずは、「東大和スタイル」の普及率を上げる必要があると考えるが、その点についての取り組みは示されなかった。現時点での普及率と様々な取り組みの効果をあげるうえで目指している普及率はあるか。</p> <p>② マイナンバーカードを利用した各種サービスを推進していくとともに、マイナンバーカードの普及促進を進めるとのことだが、当市のマイナンバーカードの普及率の状況は また、マイナンバーカードの利便性向上のために東大和市が取り組む施策にはどのようなものがあるのか。</p> <p>① 平成30年度は、尾崎市政第2期の最終年度となる。様々な施策を推し進め、実績を重ねられていると認識しているが、市長ご自身の目標に対して、現時点はどこまで達成していると市長は考えているのか。また、現時点で未達成だと考えている点はどのようなことで、それを改善、もしくは実現させるために、市長ご自身が重点的に取り組もうと考えていることは何か。</p>
	3	その他	
	4	総論として	

<p>2. 公明党 (中間 建二)</p>	1	<p>市長の今任期の3年間の総括と現状認識について</p>	<p>① 今任期の3年間を総括し、どのような実績を上げて来られたと認識をされているか。特に施政方針で述べられている5つの重要施策について、具体的な数値を持って、成果と実績を明らかにしていただきたい。</p> <p>② 市財政の健全化、行財政改革の推進と市民サービスの充実、防災対策の充実強化の3点について、これまでの成果と実績の評価について伺う。</p> <p>③ 市民意識調査等を踏まえての客観的な評価について、どのように受け止め、分析をされているか。</p> <p>④ 公共施設等総合管理計画に基づく各論としての具体的な計画は、いつまでに、どのような形で市民に示していられるのか。</p>
	2	<p>施政方針に示された重要施策について</p>	<p>① 子ども・子育て支援制度の充実について</p> <p>ア 保育園の定員増加の見通しと保育士の確保対策の詳細な内容は</p> <p>イ 保育園の待機児童ゼロの見通しは</p> <p>ウ 保育の質の確保、向上にどのように取り組んでいくのか。</p> <p>エ 学童保育の待機児童対策について、民設民営の施設によって、どの程度進むのか。ランドセル来館の状況はどうか。</p> <p>オ 学童保育と放課後子ども教室の一体的な運営について、どのように取り組んでいられるのか。</p> <p>カ 母子保健コーディネーターの具体的な相談支援の体制と継続した関わりの状況、SNSの活用はどうか。</p> <p>キ 旧みのり福祉園跡地を活用した子育て世代包括支援センターの設置について、どこまで検討が進んでいるのか。</p> <p>ク 当市に相応しい、(仮称)子育て支援条例の制定について、取り組んで頂きたいが、どのような検討を行っているか。</p> <p>② 学校教育の充実について</p> <p>ア 学校教育振興基本計画の見直しについて、市長としてどのようにリーダーシップを発揮されるのか。</p> <p>イ すべての小中学校を「東大和市学力向上推進校」に指定することで、どのような成果、効果が期待できるのか。</p> <p>ウ 地域未来塾について、人的配置、開催頻度、対象者はどのようになるのか。</p> <p>エ 就学支援事業における小学1年生への前倒し支給について、実施時期や対象数の見通しはどうか、中学1年生への前倒し支給についても進めて頂きたいがどうか。</p> <p>オ 学校トイレの洋式化について、対象の学校や洋式化できる便器の個数の見通しはどうか、全体的なトイレの改修計画については、どのように取り組まれるのか。</p> <p>カ 旧日立航空機株式会社変電所を保存するためのふるさと納税の推進について、全国に東大</p>

<p>(公明党)</p>		<p>3 平成30年度に取り組む主な施策について</p>	<p>和市のファンを増やし、協力者に対して感謝と尊敬の念を形にしていく考えは</p> <p>キ 平和市民のつどいをどのように充実させていかれるのか、平和の祭典であるオリンピック・パラリンピック開催年となる2020年に向けての展望と合わせて伺う。</p> <p>③ 市の魅力を高めるための施策の充実について</p> <p>ア まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理は、どのように取り組んでいかれるのか。関東学院大学との包括協定によって、どのような成果、効果が期待できるのか。</p> <p>イ 狭山丘陵観光連携事業は、どのような事業展開を予定しているのか。民間企業との連携による観光事業の推進は、どのようなものを想定しているのか。</p> <p>④ 健康・福祉施策の充実について</p> <p>ア 国民健康保険制度の広域化に伴う対応について、保険制度を守り、被保険者の医療を受ける権利をどうやって守っていかれるのか。</p> <p>イ 国民健康保険税の改定について理解を得ていくためには、これまで以上に市民の健康増進、健康寿命の延伸、医療費の抑制に取り組んでいく必要があるのではないか。</p> <p>ウ 健康ウォーキングマップの活用や東大和元気ゆうゆうポイント事業では、全庁的な取り組みに広げ、市全体に広げていかなければ大きな成果につながらないのではないか。</p> <p>エ 糖尿病重症化予防やジェネリック医薬品の利用促進について、さらに強化していく考えは</p> <p>オ 健康づくりカレンダーの充実や「東大和スタイル」との連携について、検討しているか。</p> <p>カ 地域包括ケアシステム構築に向けて、既存の機関と認知症初期支援チームをどのように有機的に機能する体制を構築していくのか。</p> <p>⑤ 環境施策の充実について</p> <p>ア 3市共同資源物処理施設について、周辺環境への対策や周辺住民への配慮について、どのように取り組んでいかれるのか。</p> <p>イ さらにごみ減量施策について、どのように取り組んでいかれるのか。</p> <p>ウ 市民負担軽減のために、ゴミ袋の値段の引き下げや資源物の個別収集への切り替えはできないか。</p> <p>エ 狭山丘陵の保全や公益財団トトロのふるさと基金との協力によって狭山丘陵の魅力をPRしていく考えは</p> <p>オ 魅力的な遊具を備えた主要な拠点となる公園の整備について、どこまで検討が進んでいるのか。</p> <p>① 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催の気運醸成に向けて、どのような事業を進めていくのか。</p> <p>② 東大和市体育協会と連携し、東大和市スポーツ憲章の制定に取り組む考えはないか。</p>
--------------	--	------------------------------	--

(公明党)			<p>③ オリンピック・パラリンピックの精神や開催の意義を学校教育の中でどのように学び、活かしていけるのか。</p> <p>④ 「ヒガシヤマト未来大学」は、どのような事業展開を予定しているのか。</p> <p>⑤ 図書館事業における子どもの読書環境の充実について、どのような事業展開を進めていけるのか。開館日の増加、開館時間の延長、利用者のサービス拡充にどのように取り組んでいけるのか。</p> <p>⑥ 障害者グループホーム、放課後等デイサービスの拡充にどのように取り組んでいけるのか。</p> <p>⑦ 総合福祉センターにおけるケアラー支援の充実、子育て支援、高齢者の介護予防等の取り組みはどうなっているか。</p> <p>⑧ 農地の保全・活用、担い手の確保・育成、市民交流・地産地消の推進について、どのように取り組んでいくのか。収益性の高い事業展開のための施設整備は、どのようなものを検討しているのか。</p> <p>⑨ 小口事業資金融資あっせん制度等の実施においては、利子補給等を行い、より使いやすい制度設計が必要ではないか。</p> <p>⑩ 商店街活性化のために、子育て応援とうきょうパスポート事業を強力に推進していくべきではないか。</p> <p>⑪ 空き家の適正管理について、実態調査を行い、空き家バンク等の活用についても検討を進めるべきではないか。</p> <p>⑫ コミュニティバスの利用促進策について、高齢者運転免許証返納者への無料券の配布、イベント開催時の無料乗車日の設定、子育て支援につながるサービスなどを検討できないか。</p> <p>⑬ 東大和市社会福祉協議会、シルバー人材センターとの連携に、どのように取り組んでいけるのか。両施設の建物の現状について、事業を進めていく上で支障は無いのか。</p> <p>⑭ 財政の見える化を進めるために、分かりやすい財政白書の作成や個別の施策や事業について、市民一人あたりのコストを示していく考えはないか。</p>
<p>3. 興市会 (大后 治雄)</p>	<p>1</p>	<p>重要施策について</p>	<p>① 子ども・子育て支援施策の充実について</p> <p>ア 保育園待機児童対策に関し、待機児童解消の見通しを伺う。</p> <p>イ やまとあけぼの学園の老朽化対策に関する、今後のスケジュール等詳細を伺う。</p> <p>ウ 子育て支援の情報発信に関し、観光・子育てアプリケーション「東大和スタイル」の見直しの詳細を伺う。</p> <p>② 教育施策の充実について</p> <p>ア コミュニティ・スクールの開設に関し、今後のスケジュール等詳細を伺う。</p> <p>イ 学力向上に関し、「地域未来塾」実施の詳細及び効果に対するご認識を伺う。</p>

<p>(興市会)</p>	<p>2</p>	<p>主な施策について</p>	<p>ウ 旧日立航空機株式会社変電所の保存等に関し、現在までの寄付の総額と新たな取り組みを伺う。</p> <p>③ 市の魅力を高める施策の充実について</p> <p>ア 市のブランド・メッセージである「東京 ゆったり日和 東やまと」を活用したシティプロモーションの取り組みの詳細を伺う。</p> <p>④ 健康・福祉施策の充実について</p> <p>ア 「東大和元気ゆうゆうポイント事業」の効果を伺う。</p> <p>イ 観光・子育てアプリケーション「東大和スタイル」に追加されたウォーキング機能の詳細及び周知方法を伺う。</p> <p>ウ 認知症初期集中支援チームの設置に関し、詳細を伺う。</p> <p>⑤ 環境施策の充実について</p> <p>ア 特色ある公園の整備に関し、市民懇談会の検討状況を伺うとともに、今後のスケジュール及び課題を伺う。</p> <p>イ 廃棄物の減量と適正処理に関し、食品廃棄物等の削減に対する具体的な取り組みを伺う。</p> <p>① 生涯学習の充実について</p> <p>ア 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催の気運醸成に向けた事業の詳細と第51回市町村総合体育大会の幹事市としての担当事務の詳細を伺う。</p> <p>イ 市民大学改称後の、開催日程や事業内容の詳細を伺う。</p> <p>② 青少年の健全育成について</p> <p>ア 放課後子ども教室に関し、学童保育事業と教育委員会との連携による具体的な取り組みを伺う。</p> <p>③ 障害福祉の推進について</p> <p>ア 東大和市総合福祉センター は～とふるに関し、各事業の詳細及び利用状況、また、みのり福祉園の利用状況との比較を伺う。</p> <p>④ 児童福祉の推進について</p> <p>ア 「赤ちゃん・ふらっと」の運用に関し、整備状況及び効果、利用者の要望などを伺う。</p> <p>⑤ 観光事業の推進について</p> <p>ア うまかんべえ～祭に関し、過去6回の開催で、東大和市の魅力発信にどれだけ効果が得られたのか伺う。</p> <p>⑥ 道路・交通の整備について</p> <p>ア コミュニティタクシー導入に向けた、各地区の進捗状況を伺う。</p> <p>⑦ 防災・防犯体制の推進について</p> <p>ア 地域防災力の向上に関し、女性防災リーダーなど、女性の視点を踏まえた防災人材の育成に対する市の認識を伺う。</p> <p>⑧ 人権尊重・男女共同参画社会の確立について</p> <p>ア 男女共同参画社会の実現に向けた、さらなる啓発等の詳細を伺う。</p> <p>⑨ 共に支え合う地域社会の確立について</p>
--------------	----------	-----------------	---

(興市会)			<p>ア 東大和市社会福祉協議会のボランティア・市民活動センターの活動及び利用状況を伺う。</p> <p>⑩ 市民自治の向上について</p> <p>ア 市報の全面カラー化実施に関し、予算は増額されるのか伺うとともに、全戸配布の検討状況なども伺う。</p>
<p>4. 日本共産党 (尾崎 利一)</p>	<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p>	<p>日本経済、地域経済の現状と市民の暮らしの実態について</p> <p>国や東京都の施策について</p> <p>国民健康保険税や介護保険料の値上げについて</p>	<p>① 市政運営の基本に据えられるべきは市民の暮らしの実態だと考えます。市民の実質賃金・実収入や可処分所得、エンゲル係数などの近年の推移を踏まえ、市民の暮らしや地域経済の実態についての認識を伺います。</p> <p>② 物価は上がっているが賃金は下がっているという理由で、年金支給額は据え置かれました。下位10%の一般低所得世帯の消費支出が下がっているので、10月から生活扶助基準を引き下げるといいます。一般低所得世帯の所得の上限値も実質で下がり続けています。景気の動向いかにかわらず、格差と貧困が広がっています。この対応こそ、市民の暮らしに寄り添うべき市政の最大の仕事であり、課題だと考えますが、いかがですか。</p> <p>③ 消費税の8%への増税はとりわけ市民の暮らしと地域経済を悪化させたと考えます。市民の暮らしを守る立場から再増税には反対すべきと考えますが、いかがですか。</p> <p>① 市長は「国や東京都の施策は、待機児童解消や高齢者対策の推進により、わが国が直面する少子高齢化という最大の壁に立ち向かっていくもの」と評価し、「国や東京都と連携して施策を推進していく必要がある」としました。国や東京都の施策で活用できるものは大いに活用する、これは当然のことです。しかし、長時間過密労働を野放しにするどころか一層促進し、低賃金で不安定な非正規雇用を拡大し、子育てへの財政投入を渋り続けている国の悪政こそが、少子高齢化を作り出し、暮らしを圧迫している原因ではありませんか。来年度政府予算案の最大の特徴は、軍事費は過去最高の5.2兆円・社会保障は1,300億円圧縮というものではありませんか。暮らしを壊す政治から市民を守る防波堤としての役割こそ東大和市に問われていると考えますが、いかがですか。</p> <p>② 国は、来年度までは地方一般財源総額を維持する方針ですが、その後については明らかにされておらず、削減に向かう可能性があります。市民の暮らしを守る立場から、国に地方一般財源の維持・拡充を求めるべきと考えますが、いかがですか。</p> <p>① 市は、国民健康保険税を4月から6年連続で値上げし、現行の1.4倍もの保険税を課そうとしています。6年後には少なくとも6億円を大きく上回る値上げとなるものです。4月からの介護保険料値上げは3年で3億4,300万円の負担増</p>

<p>(日本共産党)</p>	<p>4 重要施策、主な施策について</p>	<p>となるものです。双方とも、市長施政方針演説では具体的に触れられていません。市報でも、2月15日付で、やっと、国民健康保険税の来年度分の値上げについて、掲載されただけです。これだけの「大改革」、大負担増を市民にまともに知らせることなく決めるべきでないと考えますが、いかがですか。</p> <p>② 介護保険料は3年ごとに値上げされていますが、保険料算定のための推計は大きく外れ、3年前の値上げについては結果的に必要なかったことを市は認めました。4月から値上げする根拠はないと考えますが、いかがですか。</p> <p>③ 国民健康保険会計に対する一般会計からのその他繰り出しは、直近3年間では平均7億8,400万円でしたが、来年度は値上げしなくとも大きく減少します。今でもサラリーマンが払う協会けんぽの1.6倍という高すぎる国民健康保険税は、値上げではなく、引き下げるチャンスだと考えますが、いかがですか。</p> <p>① 市長は、保育需要について「市の環境整備を上回る動向が見られる」とし、また、低賃金等による保育士不足で小規模保育園の開設が遅れていることも示唆しました。公立の認可保育園増設こそ問題解決のカギと考えますが、いかがですか。また、学童保育についてもさらなる増設が必要と考えますが、いかがですか。</p> <p>② 日本共産党が求めてきた、小学校特別教室へのクーラー設置やトイレの洋式化促進、就学援助の小学校1年生への新入学学用品費の前倒し支給を評価します。教職員の働き方改革が大きな問題になっていますが、教職員の過労死ラインをこえる長時間労働の最大の被害者は、教職員とともに子どもたちです。学習指導要領の2008年改訂によって、授業コマ数が小学校で278コマ、中学校で105コマ増えたのに、これに見合う教員定数増が行われなかったことが長時間労働激化の原因であることを文科省も認めました。30人学級も含めた教職員の抜本増こそ教育環境改善の決定打と考えますが、いかがですか。また、小中学校へタイムカードを導入すべきと考えますが、いかがですか。</p> <p>③ 戦争遺跡である旧日立航空機株式会社変電所の保存に積極的に取り組んでいることを評価します。戦争遺跡保存の問題で、沖縄県、陸軍病院南風原壕を日本で初めて文化財指定した南風原町、アブチラガマのある南城市などを視察してきました。遺跡とともに、遺跡が示す沖縄戦が何だったのか、時間的、空間的にその意味を明らかにして、後世に残していくという努力と相まって進められていることを知りました。沖縄県の平和教育は、命の尊さ、米軍統治下での人権抑圧、米軍基地の整理縮小の3つの柱で進められています。沖縄の現在との緊張の中で戦争遺跡保存の事業も進められています。東大和市が憲法を市民に</p>
----------------	------------------------	---

<p>(日本共産党)</p>	<p>5 適正な行財政運営について</p>	<p>配布していることは大変重要ですが、憲法9条を守ることや米軍横田基地の存在と無関係に変電所保存の取り組みを成功させることはできないと考えます。市長の見解を伺います。</p> <p>④ 2月15日に図書館協議会の答申が出されました。開館日や開館時間等の見直しについては、指定管理者制度は導入せず、市の直営の下で、優先順位をつけて取り組むよう求めるものです。市長から教育委員会に依頼し、諮問されたものです。答申を尊重し、図書館への指定管理者制度導入は行わないよう求めますが、いかがですか。また、この大元には、市の内部組織である「公の施設の管理運営のあり方検討委員会」の報告があります。この検討委員会は、個々の事業を市民のためにどう拡充・発展させるのかという本来の視点からの議論でなく、指定管理者制度導入の可否という視点からのみ検討するものであり、行政の本来の役割を損なう結果をもたらす可能性もあることが、今回の図書館の事例で明らかになりました。検討委員会の廃止も含めた抜本的な見直しが必要と考えますが、いかがですか。</p> <p>⑤ 格差・貧困対策の要のひとつは、命と健康を守ることです。18歳以下の医療費無料化、75歳以上の半額助成制度創設を求めますが、いかがですか。小中学生の医療費助成制度を18歳以下まで拡大するのに必要な事業費は2千2百万円、入院のみなら200万円と市は答弁しました。東京ガス、NTT、東京電力の大企業3社だけに2,500万円値下げした道路占用料を元に戻すだけで実現可能です。ただちに踏み出すべきと考えますが、いかがですか。</p> <p>⑥ 10月から生活扶助基準が全体として引き下げられようとしています。健康で文化的な生活を損なうものであり、市として反対の声を上げていただきたい。また、扶助基準引き下げが、市の他の施策において市民の負担増につながらないように措置が必要と考えますが、いかがですか。</p> <p>⑦ ちよこバスへのシルバーパスの導入に向け、西武バスと協議を進めるよう求めますが、いかがですか。運賃を100円に戻すとともに、東京街道団地など高齢者が多い地域や交通不便地域などへの迅速な対策が必要と考えますが、いかがですか。</p> <p>⑧ 運動広場や特養ホーム、知的障害特別支援学校建設など、市内の使われていない国有地や都用地の市民のための活用が大きく動き出しているのはいいことです。必要な福祉施設やスポーツ施設等の整備のためにフル活用するよう求めますが、いかがですか。また、当然、みのり福祉園跡地や2つの学校給食センター跡地など市の所有する土地についても、市民の福祉の向上に役立てるべきと考えますが、いかがですか。</p> <p>① NTT、東京ガス、東京電力の大企業3社だけに道路占用料を約2,500万円引き下げたのは</p>
----------------	-----------------------	--

(日本共産党)			<p>間違いです。元に戻すとともに、更なる増収を図るべきです。昨年、市長は「市独自のものを定める場合には地域性等を踏まえた研究が必要」と答弁しました。検討を求めますが、いかがですか。</p> <p>② 東大和市が年間2,800万円ほど負担している、都バス梅70系統の地元自治体負担には合理性がないことが明らかになりました。東京都と協議し、見直すべきと考えますが、いかがですか。</p> <p>③ 桜が丘への廃プラ施設の建設について、市議会が都市計画手続きの中止を求める陳情を採択したにもかかわらず、市長は都市計画決定を強行しました。見解を伺います。</p> <p>④ 市議会は、現在おこなわれている本会議に加え、委員会や予算・決算特別委員会もインターネット映像配信できる事業費として、平成30年度に約45万円の予算要望をした訳ですが、市長がかかげている開かれた市政を進めるためにも前向きな対応を求めますが、いかがですか。</p>
5. やまとみどり (床鍋 義博)	1	平成30年度の重要 施策について	<p>① 「教育施策の充実」については、これまで当党派でも図書館を始めとする公共機関における学習スペースの必要性を訴えてきました。市の努力もあり、現在は小中学校の長期休暇の際に、図書館2階の会議室の開放が行われております。しかしながら、常時学習できるスペースは未だ十分とは言えない状況です。学習スペースとは、いつ行っても使える状態にしてこそ効果が出てくるものであります。また、その利用方法についても、水筒や蓋つきのペットボトルの持ちこみや、グループで学習できるような最近の学習スタイルに合致した環境を整える必要があると考えます。利用の周知についても含め、市の見解を伺います。また、市の文化財である旧日立航空機株式会社変電所について、平和の象徴として世界へ発信していくべき貴重な戦災建造物であり、教育施設であると同時に、観光資源としての役割も期待されることです。その具体的な施策について伺います。</p> <p>② 「市の魅力を高める施策の充実」については、民間企業との連携による観光事業の推進が謳われております。東大和市の魅力を広く発信するためには、市内外問わず、また、大企業だけではなく、ベンチャー企業などに広く門戸を開き、新しい発想を取り入れた施策が必要であると考えますが、この点について具体的な施策を伺います。</p> <p>③ 「環境施策の充実」については、廃棄物となってしまう容器包装を生産・流通段階で削減させるよう生産・流通業者に削減を求めていく拡大生産者責任の取り組みを評価いたします。市民に対し「マイバッグ資源を入れてお買い物」というキャッチフレーズで協力を促すということですが、その一方で業者に対しては、どのような対応を求めていくのかについて伺います。また、食品廃棄物等の削減についても具体的な方法を伺います。</p>

<p>(やまとみどり)</p>	<p>2</p>	<p>平成30年度に取り 組む主な施策について</p>	<p>① 「ヒガシヤマト未来大学」について、その修了者が大学で学んだことを活かしていく具体的な施策について伺います。</p> <p>② 今年は、明治維新150年、五日市憲法発見50周年という節目であります。東大和市にも所縁のある千葉卓三郎氏の功績について資料の収集・保管、また周知活動について近隣市や千葉卓三郎氏の出身地である宮城県栗原市との連携について伺います。</p> <p>③ 障害者福祉の推進について、地域福祉の拠点として整備した東大和市総合福祉センターは～とふるは、民設民営という手法により建設・運営されております。財政的な観点で言えば利点もありましたが、実際に運用していく中で福祉関係者からは利用しにくいといった声もあることも事実です。今後、本来の総合福祉センターとしての役割を果たすため、福祉関係者をはじめとする市民の期待に対して、どのような施策を行っていくのかを伺います。</p> <p>④ 地域福祉の推進について、歩道のバリアフリー化の推進が謳われております。当市は未だ歩道の狭いところも多くあり、バリアフリー化も含めた整備が喫緊の課題です。そのような中、向原の都府有地について東京都から特別支援学校建設の要望があり、市としては住宅建設を求めていくという説明が議会においてもされております。この機会を活用し、東京都と協力して都がすすめる無電柱化を含めた歩道のバリアフリー化を目指していくことで、施策をより強く進めた方が良いのではないかと考えますが、市の見解を伺います。</p> <p>⑤ 商業の振興については、東大和市を創業の拠点として位置付ける施策が継続しております。こういった施策は継続してこそ効果が発揮されてきます。幸いにして東大和市には中小企業大学校という国の機関もあり、その活用も継続しております。しかし、その存在と取り組みが広く市内外に十分に周知されておられません。この点を鑑みて東大和市を創業の拠点とするための具体的な施策について伺います。</p> <p>⑥ 環境にやさしく安全で快適なまちづくりについては、公共交通空白地帯とされる地域を中心に、コミュニティバスとしてちょこバスが運行しております。また、市内の体育施設を結ぶバスが指定管理者により運行されていたり、今後高齢化が進むにつれ、福祉タクシーのような交通手段が検討されたりしています。このような場合、目的や所管部門を横断しての検討が必要であると考えますが、今後の予定について市の見解を伺います。</p> <p>⑦ 緑の保全・創出については、市有地の他、都有地、国有地の空き地の活用について具体的な施策を伺います。</p> <p>⑧ 防災・防犯体制の推進については、高層マンションに住む市民の避難経路、一時避難所への集中など、高層マンション特有の課題が多いと思わ</p>
-----------------	----------	---------------------------------	---

(やまとみどり)			<p>れますが、これに対する見解を伺います。</p> <p>⑨ 平和事業については、先ほど教育の項目で述べた旧日立航空機株式会社変電所を活用した平和施策には市民との協働が不可欠です。市には観光ボランティアや施設保存のために活動する団体や市民有志が数多く存在しますが、これらと協働していくことについて市の見解を伺います。また、保存、修繕についての基本設計や活用の計画など東京都と交渉していく必要があると考えますが、市の見解を伺います。</p>	
	3	適正な行財政運営の実現について	<p>① 持続可能な自治体経営については、高度経済成長期に建設された建物などのハコモノ、道路、下水道などのインフラの耐用年数が一気に到来します。そのため、実体に即した更新計画が必要になります。また、建物の統廃合のためにはその施設を利用する市民の理解を得ていくことが重要になります。市民の理解を得ていくためには、行政の無駄を極力廃止していかなければなりません。一例をあげるとすれば、(仮称) 3市共同資源物処理施設の建設金額が当初の約2倍となったことの説明、今後、更新予定である焼却炉の建設費用については、直接東大和市の財政に大きな影響を与える事業であります。これらを含め、市民への説明義務に関してどのような説明を行い、理解を得ていくのかについて市の見解を伺います。</p>	
6. 無所属 (実川 圭子)			<p>① 地方消費税精算基準の見直しにより、東京都の予算は大幅な減収になっております。当然それに伴い、当市でも影響があると考えますが、当市への影響と今後の見通しについて市の見解を伺います。また、その一方で市町村総合交付金が50億円増額されております。この交付金を受けるためには、市区町村の具体的な計画が必要であると考えますが、この点について市の見解を伺います。</p>	
	1	子ども・子育て支援施策の充実について	<p>① 「日本一子育てしやすいまちづくりの実現に向けた施策を推進するとともに、他の施策と一体的に取り組む」とのことだが、子育て支援部だけでなく、あらゆる部で対応するためのルール化がされているのか。また、されていないようであれば、その必要性を伺う。</p>	
	2	教育施策の充実について	<p>① 不登校児童・生徒の社会的自立を支援するための適応指導教室の機能強化モデル事業とはどのようなものか。年間90名ほどいるサポートルームにも通えない児童・生徒への支援となるのか伺う。</p>	
	3	図書館事業について	<p>① 図書館協議会に諮問した内容について、図書館協議会からの答申が出された。答申を最大限尊重すべきと考えるが、市の認識を伺う。</p>	
		4	都市農業の振興について	<p>① 農業及び農地について多面的な役割として、福祉との連携や消費者との連携についても推進を望</p>

<p>(実川 圭子)</p>	<p>5</p>	<p>緑の保全・創出及び 防災について</p>	<p>むが市の考えを伺う。</p> <p>① 緑の果たす洪水被害の緩和効果は大きい。緑の基本計画についてグリーンインフラの視点を盛り込むことで、集中豪雨対策などによる浸水対策として軽減効果を発揮できる抜本的な対策になると考えるがいかがか。</p>
	<p>6</p>	<p>市民自治の向上について</p>	<p>① 行政情報について伝えることは引き続き進めていただきたいが、さらに、市民情報も伝えていくことで市民の関心度が増すと考えるがいかがか。</p>
	<p>7</p>	<p>今後の市財政について</p>	<p>① 市民サービスの一層の向上に努めることはもちろんだが、職員だけで担うには限界がある。サービス内容を見直していくとともに、市民参加・協働による行政運営を進めるためにも、市民提案事業導入等を進める時期だと考えるが市の認識を伺う。</p>